

特集

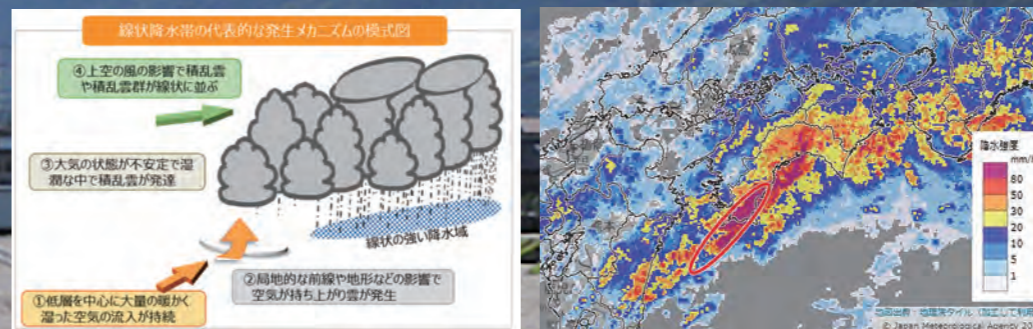
災害から身を守る

近

年、私たちの想像をはるかに上回る災害が各地で発生しており、その一つに「線状降水帯」による局地的豪雨があります。現在のところ、垂井町では大きな被害は確認されていませんが、7月から10月にかけては台風が発生、接近しやすい時期であるため注意が必要です。災害が発生しても、正しい知識を供え、迅速に正しく行動できるようにしましょう。

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水域のことです。



引用：国土交通省気象庁ホームページより

線状降水帯を予測

気象庁では令和4年6月から、半日程度前から線状降水帯による大雨の予測情報の提供を開始しています。ただし、線状降水帯は発生メカニズムに未解明な点も多く、今後も継続的な研究が必要不可欠と言われています。予報があつたからといって必ずしも線状降水帯が発生する訳ではありませんが、大雨となる可能性が高い状況です。

日頃から備える

災害時の緊急情報を受け取れるようにしましょう。町では、次のように、さまざまな媒体を通して情報を発信しています。災害時には防災行政無線が聞こえない場合もあります。重複した内容もあるため、全てに登録する必要はありませんが、必ずいずれかに登録して情報を得られるようにしましょう。

防災行政無線が聞こえないときのためにぜひ登録を！

町公式LINE 登録者に緊急情報や町からのお知らせを発信します。「垂井町」と友達検索、またはQRコードから友達登録してください。 	防災アプリ 登録者に緊急情報を発信します。QRコードからインストールしてください。 	メール「たるいボイス」 登録者に緊急情報を発信します。メールアドレスまたはQRコードから空メールを送信してください。 t-tarui@sg-p.jp 	テレホンサービス 防災行政無線での発信情報を電話で聴けます。 ☎0800-200-1387
町ホームページ 緊急情報や防災情報など発信します。 			

そのほかにも・・・

防災グッズを用意する



避難経路や危険箇所を確認



ハザードマップを確認



－防災に対する支援－

町では、地域の防災力の向上ため、次のような制度を設けています。

自主防災組織防災資機材 購入費補助金制度

防災を目的に地域の共有施設などで共同管理することを条件に自主防災組織が行う防災資機材の購入に要する経費の一部を補助しています。

- ▶ **補助金額**／補助対象経費の2分の1(1,000円未満切り捨て) 1団体につき年間10万円が上限
- ▶ **補助対象**／防災倉庫、可搬消防ポンプ、電池式メガホン、ヘルメット、消火器、救急用品、テント、担架、ロープ、工具類、携帯ラジオ、自家用発電機、ブルーシート、炊飯用具、組み立てリヤカー、トランシーバーなど



届出避難所登録制度

指定避難所とは別に、地域の身近な集会所などの施設を、自治会などが自主的に開設・運営する「届出避難所」として登録する制度です。

- ▶ **対象組織**／自治会、自主防災組織など
- ▶ **対象施設**／集会所、民間施設など
※管理者や所有者の同意が必要です。
※耐震や浸水想定区域などにより制限を受けます。
- ▶ **留意事項**／職員の派遣は行いません。指定避難所と情報共有を図ります。不足物資は、指定避難所での受取りになります。事故などの損害は、町はその責を負いません。

警戒レベル	避難情報	住民が取るべき行動
5	緊急安全確保 (町が発令)	命の危険 直ちに安全確保！
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~		
4	避難指示 (町が発令)	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難 (町が発令)	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める

## 警戒レベル4「避難指示」で必ず全員避難

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状態です。警戒レベル5の発令を待たず、警戒レベル4で必ず避難しましょう。避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3で危険な場所から避難しましょう。

## 水平避難・立ち退き避難



時間に余裕がある場合に、近隣の避難先ではなく川や山から離れ、より安全な場所へ避難することです。

## 垂直避難・屋内安全確保



急激な降雨や浸水により屋外での避難行動が困難な場合に、浸水による倒壊の危険がないことを確認し、自宅や隣接建物の2階以上へ避難することです。

※悪天候の時に川や山の様子を見に行くことは非常に危険です。絶対にやめましょう。

## 地域防災力向上を目指して

台風7号の影響により8月15、16日に垂井町で暴風警報と大雨警報が発令されました。

町内で大きな被害はありませんでしたが、中国地方や近畿、東海などで記録的な大雨となり、各地で浸水などの被害が相次ぎました。これは他人事ではなく、同じように垂井町で被害が出てもおかしくない状況です。

町としましては、資機材や食糧の備蓄や協定の締結などできる限りの備えや対応をしていますが、災害時は避難所運営を含め、町民のみなさんの協力が必要になります。被害を最小限に抑えるため、家庭での備蓄や地域での訓練への積極的な参加により、地域防災力の向上に繋がっていただきたいと考えています。引き続き町防災行政へのご協力をお願いします。



▲小学生たちへの防災出前講座の様子